

# 園長だより

2024年10月2日

園長 澄川忠男

## 25パーセントルール 使ってみませんか・・・

今年度、第一幼稚園の教員は、「ティーチャーズ・トレーニング」という、下関市こども発達センターが主催の研修会に参加している話はしたと思います。講師はセンターの臨床心理士さんで、メンター（グループワークなどの時のアドバイスをしてくれます）も4人お手伝いに来てくださいます。第一幼稚園・第二幼稚園・その他の幼稚園、総勢30名程度と一緒に学ぶ中で教えていただいたのが「25パーセントルール」です。

### ◆「25パーセントルール」って何？

子どもをほめるときや子どもを叱るとき、みなさんは何を基準にして「ほめる」「叱る」「注意する」などの判断をしていますか？

恥ずかしながら、自分が子育てをしていたころを思い出すと、「自分が勝手に決めている理想とする子どもの姿」を基準にしていたと思います。ですから、ほめることはほとんどなく、注意ばかりしたり、もつともつと励ましたり・・・我が子にはかわいそうなことをしていたと反省しています。我が子だからこそ、親の欲が出て当たり前ですが、今は30代前半と20代後半の二人の息子とお酒を飲みながら、子どもの時のことを話すと「ほめられた時はうれしかった」「あんまりほめられた記憶はないな～」「こんなに頑張ってるのになんでほめてくれないんだろうって思ったよ」「出来たら、そのたびにハードルが上がった」の言葉が胸に刺さりました。

「25パーセントルール」という考え方は、「子どもをほめるときの基準を、25パーセントに下げてください！」というものです。最初の基準を自分が考えている姿の25パーセントまで下げて、スモールステップで100パーセントを間座したらどうですかという考え方です。その分、ほめることがたくさん増えますよという考え方です。

私たち現場の職員も意識して行うようにしています。

例えば、おもちゃを片付けるとき。「一度の声掛けで、すぐに行動し、きれいに、黙って片付けができる」姿を100パーセントの基準としたとき、それを完璧にしないとほめてもらえません。反対に「何度言ったかな」「まだ始めてないよ」「おしゃべりが多いよ」などと叱られたり注意されたりすることが多くなってしまいます。

25パーセントルールだと、「片づけ始めたね！（すぐじゃなくても）」「片づけたね！（一個だけでも）（場所が違ったとしても）」「途中までできたね！（途中でやめたとしても）」「静かにできるようになったね！（少しくらいおしゃべりがあっても）」と、ほめるタイミングがいくつも生まれてきます。

減点の考え方ではなく加点の考え方なのです。大人が「できて当たり前」と思っている、子どもが頑張ろうとしていることを認め励ます考え方です。私たち教職員はできるように頑張っています。ご自宅でもいかがですか？（すで実践されている方もたくさんいらっしゃるかもしれませんね）

◆澄川は、3日～4日の2日間、今度は岐阜県に出張に行ってきます。今週は園長だよりを早めに出します。先週の不在では、子どもたちは一週間ぶりに会う私の顔を忘れないでいてくれました。ありがとう！この週末は、下関も岐阜県も雨かな～。連絡は常に取れるようにしています。2週にわたる不在をご理解ください。

